

酒々井町郷土研究会々報

第80号

平成8年4月1日発行
酒々井町郷土研究会
広報部

佛像考 (その四) 天部

青木 朝次

佛教の成立以前からインドにあったバラモン教・ヒンズー教の神々を佛教に取り入れて護法神としたもので、本来、天界に住むので天と呼ぶ。佛教界では如来・菩薩の布教を助ける佛として、像容は、男性の天は甲冑をつけ、下に上衣・股下衣・裳をつけ、沓を履いて、足元に邪鬼を踏む姿が多い。女性の天は、ひれ袖のついた長い袂の上衣をつけ、下着と裳をつけて沓を履く姿が多いが、裸の弁天像などもあり決まっていらない。

〈四天王〉

佛教的世界観では、宇宙の中心にある須弥山に住む帝釈天の輩下で、須弥山中腹の四方の門を持国・增長・広目・多聞の各天が護っている。これが四天王で、それぞれ眷族があるが、眷族を従える像はあまりない。

四天王は、寺社見学でにびたび耳にし、目にする佛像なので名前と順序を覚えておくと見学が数倍面白くなる。四天王の各頭文字の持・増・広・多を「持増広多」と覚え、四方の配置は「東南西北」と覚える。

持国天(四一) 東方を守り、音楽神ガンダルバを従える。

增長天(四二) 南方を守り、鬼神クンバンダを従える。

広目天(四三) 西方を守り、意神を率いる。

多聞天(四四) 北方を守り、夜叉、羅刹などの鬼神を従える。四天王の最右翼であるが、独尊として祀る場合は毘沙門天という。腰部にある鬼面を海若というが転じて足下に踏む邪鬼を天邪鬼と呼ぶようになった。吉祥天(毘沙門天夫人)と、善財童子を従えることもある。



持国天の各部分名称 (四一)



增長天の各部分名称 (四二)



広目天の各部分名称 (四三)



多聞天の各部分名称 (四四)

二天の場合は、中の增長天・広目天を略し、持国天と多聞天を祀る。
※酒々井町では、上岩橋の長福寺に準指定文化財の持国天・多聞天がある。

〈梵天〉(四五)
バラモン教では、宇宙萬有に生じる根源を梵と名づけたものを神格化した。これが佛教に入り、帝釈天と対になって釈迦如来に従う。



梵天の各部分名称 (四五)

〈帝釈天〉(四六)

バラモン教では常に阿修羅と戦った勇者であるが、佛教に入ると梵天と共に釈迦如来の修行を助ける守護神となる。



帝釈天の各部分名称 (四六)

〈吉祥天〉(四七)

毘沙門天の右として、子の善財童子の三尊像も多い。五穀豊穡の神として、一切の福徳を司る女神で、唐服の美しい貴婦人の姿で、左手に如意宝珠をのせている。



吉祥天の各部分名称 (四七)

〈弁財天〉(四八)

智慧福徳を増し、寿命を延ばし、財

空を貯え、天災・地震などを除去する神で、池の小島や水辺に祀られる事が多い。



弁財天の各部分名称 (四八)

〈大黒天〉(四九)

もとは戦國神であったが、飲食を司る神として日本化され、大きな頭布を冠り、米俵の上に乗り、袋を背負い小槌を持つ姿に変化した。



大黒天の各部分名称 (四九)

〈歡喜天(聖天)〉(四一〇)

梵名は訛那鉢底で、魔性集團の主の意。佛教に入ると大自在天の子で、韋駄天(足の速い事)で知られると兄弟とされ、佛道修行のとき魔障を排除する神となる。像容は、象頭人身の立像で、単体もあるが、男女二天が抱擁する姿がある。男女知合、子授け、諸願成就の神として信仰が厚い。



歡喜天像 (四一〇)

(平成七年に紙面の都合で中断していましたが、今回、次回で完結いたします。)

井野の辻きり

白石栄子

二月初めの雪晴れの日、高橋三千男先生のお誘いを受けて、「井野の辻きり」を見に行きました。辻きり！と驚かないでください。時代劇でお馴染みの夜に出没する殺人者ではありません。井野は佐倉市の北西部、ユーカリが丘のモノレール線に囲まれた旧村で、辻きりとはこの地区に昔から伝わる民俗行事のことです。

毎年、一月二十五日に集って作った大きな蛇を、村境の辻にある大木に取り付けて睨みまかせ、この村に災厄や疫病が侵入するのを避けるのです。

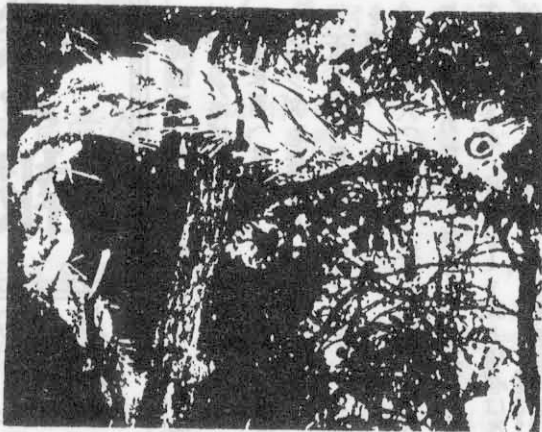
蛇には大小二種類あり、小さい蛇(小フジ)は各戸の門口の木に掛け、全長五メートル程の大蛇は、現在七個所の村境に掛けられています。この蛇は、かつては各地区ごとの「ねんばん」や「やどし」と呼ばれる家で作られていたが、今は集会所が使われるため、地区ごとにあった特色が薄れてきたそうです。蛇の頭部と胴部は別々に作られ、目玉は炒った五穀(米・麦・粟・豆・黍又は稗)を和紙に包み、墨で黒目を入れてあり、大きく裂けた口からは赤い舌がのぞいています。体部には「塞の神」の護符と榊・杉・松・楠などの魔除けの木が付けられます。

京成志津駅から国道二九六号線を勝

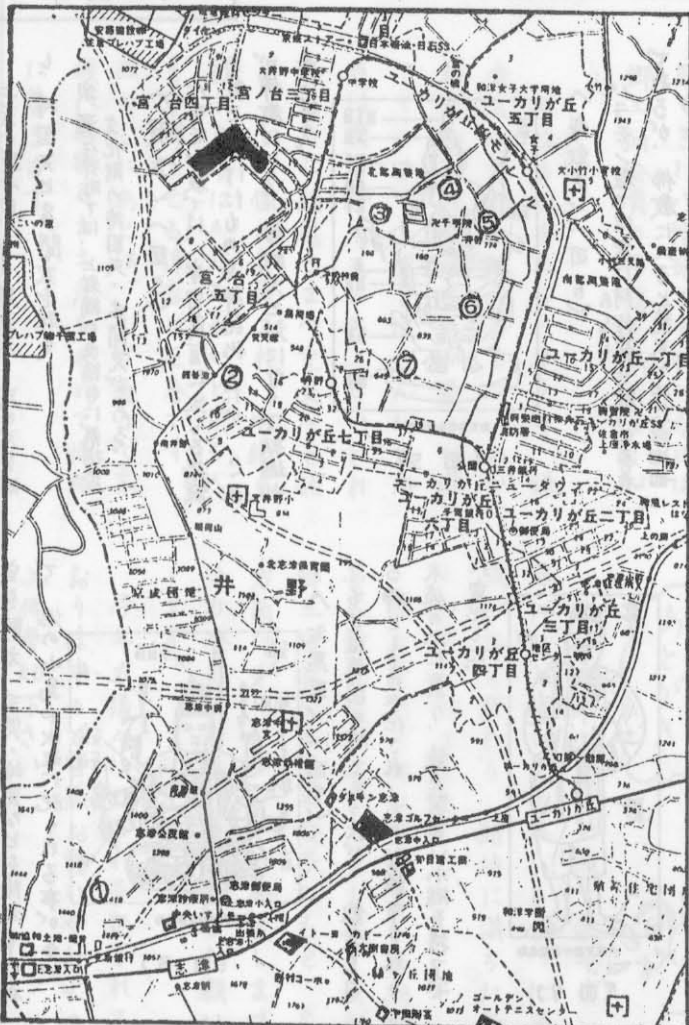
田舎へと向かい「上志津入口」の標式を右折して五十メートル程、右側の人家の柿の木に①があります。この地は、明治になって開かれて「井野新田」と呼ばれた処ですが、本村の風習を受け継いでいます。本村の辻きりは全部黒目なのに、これは赤目です。訪ねた日、大蛇の下には撒かれた五穀が残っていましたが、時代とともに五穀も変わり、米・大豆・小豆・黍にコーンも混じっていました。

②はバス停「西谷津」近く、道路右側の柿の木に旧上高野村を睨んで掛けられています。

③は八社大神(はちやまたかみ)様の木で下高野村を睨んでいます。まさに大蛇の風格があり、井野村を指し



②の辻きり



て来た災厄や疫病も、頭上の蛇の恐ろしさに退散すること間違いありません。

④は千手院横から青管に至る今は廃道の途中にあります。この蛇は、他の蛇が大木に掛けられているのに、竹の根元にトグロを巻いたように置かれ、頭部も作られています。

⑤は千手院前から小竹村への道左側にあります。細身ですが、長さはかなりあります。かつては道の両側の木にメ縄のように差し渡されていたようにです。

⑥は前面に田の広がる明るい場所に上産・下志津村を睨んで掛けられています。長さも太さも七個所の中で一番です。

⑦は道の左側の柿の木に、上志津

村を向いて掛けられた二枚舌の大蛇です。

村を守る大フジの雄々しさ、小フジの可愛らしさに感動しながら約六キロを一巡りし、一歩、村を出れば、そこは超高層マンションが聳え、モノレールの走る超近代的な風景です。古いものが者をたてて失われていく時に、祖先からの風習を大切に伝承していられる井野の人々の心の豊かさに心打たれた一日でした。



鎌倉巡れば
正井和子

前日の雪が各家の屋根に真つ白に残る一月二十一日早朝、思っにより寒くないのは、これから向かう鎌倉へと心が弾んでいるからでしょう。ホリデーパスを使った、平成八年最初の名勝探訪です。JR酒々井駅には防寒服姿の面々三四名が揃って、「今年もどろぞよろしく」と声を掛け合っています。乗り込むはずの七時四分発の快速電車が、目の前を通過してしまい、「アッ」と思っていると引き返してくるというハプニングもありましたが、一路鎌倉へ。

くれます。地獄に落ちた死者も、年忌の供養で極楽に行かれるとの住職のお話に一同うなずきました。巨福呂坂では車の列が続き、赤く私達の方が鶴岡八幡宮に早く着きそうです。境内の国宝館を見て昼食のあと八幡宮に参拝しました。朱塗りの社殿が山の緑に美しく、舞殿では静御前の舞臺を偲びました。リスの遊ぶ大銀杏は、公晩に討たれた三代將軍実朝にどんな思いを寄せたのでしょうか。

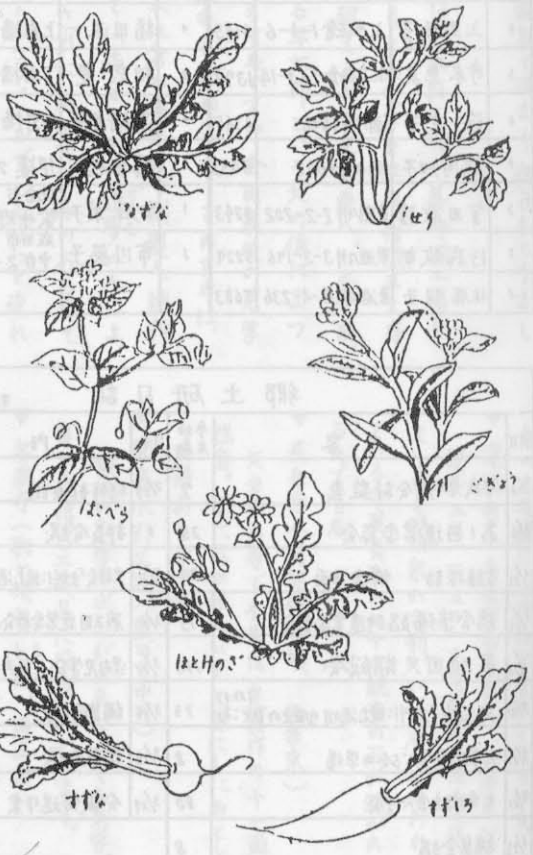
足を延ばした本覚寺には、日蓮上人の分骨が祖師堂に安置され、名工五郎正宗の墓がありました。門前の夷堂橋を渡ると、うっ蒼とした山に包まれた妙本寺です。比企一族の邸跡で、ここも源氏の悲劇の舞台です。二代將軍頼家の子供として生まれたばかりに、非業の死を遂げた幼い一幡石の哀れさに涙すれば、墓石に刻まれた笹竜胆が陽にキラリと輝きました。

駅前に戻って小町通りを散策しましたが、あまりの混雑に退散。若宮大路でお土産に買った旭サブレと録の押寿司に家族の顔が重くなりました。木仏二輪女の寺に色添えて石の段のぼれば黄梅三分咲き

春の七草



春の七草は、春の七草節に用いられる七種類の草花のことです。...



「ななくさなずな唐土の鳥の日本の土地に渡らぬ先にしと、唱え囃しながら七草を叩いて粥に入れ祝う正月七日の節句。一月遅れて実施しました七草粥はお口に合いましたでしょうか。毎年の事ですが、今年は特に雪の下になってしまったので七草を採るのに苦労しました。メニューになか

ので販やかな献立になりました。お手伝い下さった方々ご苦労さまでした。マンネリになりがちなのでよい菜をお教え頂けたら幸いです。四月二十五日にカ山菜を食べる会をいたします。菊・タラノメ・山ウドなど、今から皆さまにご興味ただけるよう心掛けてくださっている方があるので、良いものが出来るよう努力します。お申し込みをお待ちします。

また四月十六日(雨天時は十九日)に上岩橋の菊賀神社方面の「野草観察」をします。やさしくほほ笑む双体道祖神の回りで見つけたい春の野草が見られるといいですね。どうぞ御参加下さい。

野草部より



った人参の和えものは、お煮しめ用に型抜きをした端切れを捨てたく、あの方の野菜で「にねつけばなし」を茹でて一寸せいたくなカニを加えて、からしマヨネーズで和えました。如何だったでしょうか。いろいろ決めた後から名案が出る

第二〇回

定期総会終わる

総会報告

一月二十八日(日)午後一時
半より、中央公民館講堂にて第
二〇回定期総会が開催されまし
た。

昨年二月に亡くなられた前町
長の京増正儀氏の一周忌法要の
日と重なり、吉岡町長の御祝詞
を金杉公民館長よりいただいたま
した。百数十名の会員の出席の
もと各種報告、懸案議題の質議
応答もスムーズに進み、盛会裡
に終了しました。


今年には本会創立二〇周年にあ
たり、記念事業の一環として、
『千葉縣印旛郡誌』の酒々井町
誌の部分を抜すいしにものを全
会員に無料配布されました。ま
た、秋には有意義な展示会が催
される予定で、各位の熱意ある
行事参加が望まれます。

会費について
平成八年度の会費の受け付け
をしております。最寄りの役員
までお申しつけ下さい。
(下記名簿を参照して下さい)


平成8年度事業計画

役名	氏名	住所	電話	役名	氏名	住所	電話
顧問	沖田善一郎			運営委員	山内展一		
	田村直子				野中かす子		
会長	會田秀雄				林 芳子		
副会長	青木朝次				久我かす子		
	上田悦子				廣井久次郎		
会計	玉井 旭				江沢 武夫		
	武藤厚子				古川 國雄		
監事	福田豊吉				富澤 勝		
	中村 寛				福田芳江		
運営委員	渡辺 徳				福田照子		
	上野和子				福田正一		
	寺本 恵美				相京 豊		
	筋 玉子				高橋喜重		
	鶴岡知子				櫻井徳三		
	有田政勝				白石 栄子		
	行武政市				市川英子		
	佐藤 照子						


町内史跡めぐりハイキング
(教育委員会共催) 年1回
5月12日(日) 雨天代替
5月19日(日)




見学会 年2回(3月・10月)
県内 年1回(11月)
-泊 年1回(5月)
5月29日(水)~5月30日(木)
登神温泉-浦




史談会 年8回(2月・3月・5月・6月・7月・9月・10月・12月)
「史料に読む酒々井の歴史のひとこま」
講師 高橋 健一先生




野草の会
七草粥を食べる会 年1回(2月)
2/22(木) 実施済
山菜を食べる会 年1回(4月)
4/25(木) 実施
野草観察の会 年2回(4月・10月)
4/16(水) 実施 10月は未定



郷土講座
(教育委員会共催)
年1回(8月)




名勝探訪 年5回
(1月・4月・6月・9月・12月)
1/21(日) 鎌倉方面実施済
4/8(月) 国府台方面実施
6/12(水) 笠居方面実施 (6月まで記載)



会報発行
年4回
(1月・4月・7月・10月)

運営委員会 年5回
(1月・3月・6月・9月・12月)



総会
第20回
平成8年1月28日開催済

月日	内容	参加人数	月日	内容	参加人数
1/8	平成7年度会計監査	7	2/27	研修部会議	13
1/16	第1回運営委員会	25	3/1	部長会議	12
1/21	名勝探訪 鎌倉方面	34	3/2	史談会「史料に読む酒々井の歴史のひとこま」	20
1/24	総会準備臨時運営委員会	15	3/8	第2回運営委員会	26
1/28	第20回定期総会	193	3/13	県内見学会 白浜 館山方面	46
2/10	史談会「史料に読む酒々井の歴史のひとこま」	23	3/14	編集会議	8
2/21	七草粥を食べる会の準備	8	3/26	編集会議	8
2/22	七草粥を食べる会	80	3/29	会報発送作業	25
2/23	編集会議	8			559



見学案内



名勝探訪

4/8(月) 4/12(火)

国府台方面

18(月) 雨天代替 9(水)

国府台駅よりバスで里見公園に行きます。滝沢馬琴の名作「南総里見八犬伝」...

次は少し歩きます。行基の開基と伝えられる古刹「真間山弘法寺」です。...

皇居方面

6/12(水) 雨天代替 6/18(火)

四月末に閉業したばかりの東葉高線鐵道で勝田台から大手町へ向かいます。...

うが、東京の中心にこれほど広大な緑は貴重で、広い道路や手入れのいきとどいている松。...

一泊見学会

5/29(水) 5/30(木)

高遠・駒ヶ根・登神温泉方面

日長庵 桂月 (但・二六五・四三三・五五五)

崩れたつ緑まぶしく自然が人の心をなだめさせる五月。歴史と花をもとめた一泊旅行を実施することになりました。...

一日目は諏訪ICを降りて展望の素晴らしい杖突峠を通り高遠へ。高遠に入ると、ちょうど牡丹の見頃の牡丹寺といわれる遠照寺で楽しんでいただき、役者生島新五郎との恋愛で高遠に流され、一生を過ごした絵島の園み屋敷や、墓のある蓮華寺を訪ねます。...

くぐりと温泉で温まり疲れをとりましよう。

二日目は、水引工場、養命酒工場を見学し、多くの堂宇を連ね、信濃五大寺の一つに数えられる光前寺へ。本堂前左手にある早太郎という犬の像にまつわる話でも有名です。...

杖突峠(長野県茅野市)

茅野から伊那高遠方面へぬける近道。ハケ岳を背景に信濃路の美しい風景が展開する。峠一帯は「晴が峰高原」とも呼ばれる。

遠照寺(高遠町山室、日蓮宗)

創建年代は明らかでないが、室町期に身延山十一世朝師が入山して日蓮宗に改め、現寺号になったと伝えられている。...

寺域は六二〇平方メートルと広く、釈迦堂、多宝塔は国の重要文化財。五月は丹精された牡丹が素晴らしい。

絵島園み屋敷(高遠町東高遠城郭内)

江戸城大奥給取御役で、七代将軍家継の生母月光院に仕える。江戸山村裡の役者生島新五郎との密通で天明四年(一八二四)高遠へ流され六一歳で没するまでの三十八年間幽閉された屋敷が復元されたもの。

蓮華寺(高遠町長藤、日蓮宗) 絵島(白井みよ)の墓所として有名。

寺の宝物館には遺品が展示されている。建福寺(高遠町高遠番匠、臨濟宗) 建長五年(一二五三)大覚禪師の開山と伝えられる臨濟宗の古刹。...

長岳寺(阿智村駒場、天台宗)

天台宗の寺で本尊は定朝作の十二面観音。また武田信玄公を火葬にした寺として由緒ある寺です。

開島水引工場(飯田市市村)

飯田の名産品水引が出来るまでを見学。目を引く工芸品には溜息がたまります。

安楽寺(駒ヶ根市上穂、浄土宗)

四七〇年前(大永年間)酒々井町本生念清光寺で剃髪した還勢上人が開山した寺で、上人は信念の出身で三月に四五〇年忌法要が行われた。現住職は二代目。

養命酒工場(駒ヶ根市)

養命酒の出来るまでを見学します。また、古代遺跡も見学できます。

光前寺(駒ヶ根市赤穂、天台宗)


貞観二年(八六〇)慈覚大師の弟子本聖上人の開山と伝えられる天台宗の古刹。境内は約二六〇〇平方メートル。広大な寺域内には南信濃唯一の三重塔、国の重要文化財の弁天堂など善光寺につぐ信濃第二の大寺として格式を誇っている。

光前寺に早太郎という大変強い山犬がおり、遠州見付天神社で人身御供とされる子女の身代りとなり、怪物を退治し、不動明王の化身の靈天として信仰をあつめていた。

光前寺の本尊は不動明王。庭園は名園として有名。びかりごけもある。

郷土研行事業案内			平成8年4月～6月		
	4月	5月		6月	
史談会	休 ミ * 5月の史談会は第2週に変更になりましたのでお知らせいたします。	11日(土) 午後1:30 中央公民館 No.11 「史料に読む酒々井の歴史のひとこま」 講師 高橋健一先生		1日(土) 午後1:30 中央公民館 No.12 「史料に読む酒々井の歴史のひとこま」 講師 高橋健一先生	
名勝探訪	4月8日(月) 雨天代替 4月11日(木) <u>国府台方面</u> 京成酒々井駅集合 8:20 (弁当・飲み物各自持参) 京成酒々井駅 → 京成国府台 鴨 公園 里見公園 → 弘法寺 と 手古茶堂 → 京成国府台 → 京成酒々井駅 (都合により行程の一部変更もあります。)		6月12日(水) 雨天代替 6月18日(火) <u>皇居方面</u> 京成酒々井駅集合 8:20 (弁当・飲み物各自持参) 京成酒々井駅 → 勝田台(のくえ) → 大手町 → 首塚 → 二重橋 → 皇居東御苑 → 北の丸公園 → 大手町 → 勝田台 → 京成酒々井駅		
野草の会	4月16日(火) 雨天代替 4月19日(金) JR酒々井駅集合 9:00 <u>野草観察の会・上岩橋上郷方面</u> (弁当・飲み物各自持参) 菊賀神社 周辺 → 長福寺(西院院如來) → 妙楽寺(七面様) → JR酒々井		4月25日(木) 中央公民館講堂 12:00 全食開始 <u>山菜を食べる会</u> (お手伝い下さる男性は11:00に、女性等は9:00に調理に来て下さい。) 申込受付 4月12日(金) 9:00...ロビー 費用・定員 ¥700 80名 キャンセル 会田秀雄宅まで連絡下さい。(TEL. ...)		
町内史跡めぐりハイキング (教育委員会共催)	5月12日(日) 雨天代替 5月19日(日) 9:00 公民館 出発 弁当・飲み物各自持参 <u>墨・馬橋方面</u> コース 公民館 → 芝山道 → 大川戸 → 東伝院 → 飯沼本家(曲り家) → 墨・ジュニアプラザ → ハーブガーデン(昼食) → 六所神社 → 泉光院 → 公民館 行程10KM. 歩きやすい服装をご参加下さい。(都合により行程の変更もあります)				
1泊見学会	5月29日(水)～5月30日(木) 出発時間 6:30 (6:10までに集合して下さい) 雨天代行 <u>長野県 高遠・駒ヶ根方面</u> 申込受付 4月12日(金) 9:00 受付場所 公民館 ロビー 定員 45名 費用 23,000円 キャンセル 実施日5日前(5/24)まで 連絡先 会田秀雄宅まで (TEL. ...)		5/29(水) 酒々井 → 海岸 → 中央道 → 諏訪(昼食) → 杖突峠 → 高遠・遠照寺 → 鈴島園(昼食) → 蓮華寺 → 建福寺 → 伊那IC → 飯田IC → 阿智村・長岳寺 → 昼神温泉 (9日長尾 桂月 (TEL 0265-43-3500)) 5/30(木) 昼神温泉 → 飯田・関島水引工芸 → 駒ヶ根・養命酒工場 → 光前寺 → ストイラス・まがね(昼食) → 宗栄寺 → 駒ヶ根IC → 石川PA → 中央道 → レインボーブリッジ → 海岸幕張PA → 酒々井(19:00予定)		

町内史跡めぐりハイキング
蛙の声を聞きながら
皆で楽しく歩きましょう



実施日 5/12(日) 雨天代替 5/19(日)
江戸中期頃まで、芝山仁王尊詣でで賑わった芝山道をたどり、大川戸にて石仏達と対面した後、町助役さんの寺の東伝院にて徳富蘇峰詩碑や板碑を見学します。

次に飯沼本家をにすねます。飯沼本家が新潟県上川村より移築した「曲り家」の二階では、わらの工芸生活具など約200点が展示されています。一階の「甲子正宗」の試飲コーナーでは、のりと類を染めてから、今見頃のハーブガーデンを見学して、隣のコミユニティプラザで持参のおにぎりや昼食をとりましょう。

食後少し歩いて県指定文化財の獅子舞で有名な六所神社に参拝。高崎川を渡り、墨の泉光院で珍らしい一石六地蔵など見学します。そのあとは一路公民館に向かって帰ります。



会計報告

県内見学会	館山方面会計報告
3/13(収入)	
会費 5,500円 × 46	= 253,000円
(支出)	
バス代	219,380円
チップ代	8,000
おみやげ代	3,000
印刷代	800
返戻金 200円 × 46	9,200
残金	12,620 郷土研へ繰入れ
240,380	
野草の会	七草粥を食べる会会計報告
3/22 収入	57,500円
支出	57,474円(材料代)
残金	26円 郷土研へ繰入れ



よとがき、
北アメリカの寒波。南アメリカの熱波。またヨーロッパの洪水。日本でもトンネルの崩落事故、何年かぶりの大雪、河口湖の地震と気になるニュースが続いております。でも、もう四月「来にれや友よ、うちつれて」などヒロサミたくなるようなまぶしい気候になりました。わが家の雀の顔ほどの庭にも福寿草が咲き、水仙がのび、況んや花が咲きました。どうぞおだやかな年でありますようにと希いながら、郷土研完全第八〇号会報をお届けいたします。四月、五月、六月といろいろ行事が計画されており、各行事により皆様さまの御参加を心よりお待ちしております。